

絵本でこんな楽しみ方ができるんだ！

絵本作家スギヤマカナヨさん講演



作品をワークショップに活用する方法を話すスギヤマさん

岩国市中央図書館で3月、子ども読書ネットワーク「つしよにはじめましての絵本の構成と絵も手掛けて

たるテーマで心がほんわり温まる作品を生み出している。対象も赤ちゃんから大人までと幅広く、ブックスタートのアドバイスブックレット「赤ちゃんとい

“いつかの懐かしい”を作ってあげて

また、読みてスギヤマさん

フォーラム「岩国」があり、人気絵本作家のスギヤマカナヨさんが「絵本の制作秘話と裏話」絵本とワークシヨップ」と題して講演した。

講演では著書を一冊ずつ手に取り、ワークシヨップでの楽しみ方を紹介した。震災に寄り添うため描いた「ほくのまちをつくらう」と

「ほくだけのこと」（偕成社）は自分のことを好きになる絵本。ワークシヨップのテーマは「かけがえのないほく、わたし」。好きな虫や友だちなど、どんなことでもいいから描いていき、「ほくだけ」「私だけ」のマップを作る。自分の代わりは絶対にいないことを知ってもらおうのがねらいだ。

県立山口図書館が主催。子供の読書活動を推進するため、地域における読書ボランティアのネットワークづくりを目的に開いた。スギヤマさんは多岐にわ

（理論社）は、真っ白な紙の上に「ほく」が住みたい町を思い描く絵本。ワークシヨップをすると、子供たちは一番に海や森を描き、次に学校、その近くに自宅を描

いて楽しんだという。「ほくだけのこと」（偕成社）は自分のことを好きになる絵本。ワークシヨップのテーマは「かけがえのないほく、わたし」。好きな虫や友だちなど、どんなことでもいいから描いていき、「ほくだけ」「私だけ」のマップを作る。自分の代わりは絶対にないことを知ってもらおうのがねらいだ。